限りある資源を大切に！「広報あしや」はリサイクル古紙を使用しています。

「未来へつなぐ」～いのち・まち・こころ～

阪神・淡路大震災から20年を迎え、当時の状況を知るかたがたにあらためてご自身の経験や20年経った今思うことを語っていただき、分野ごとの側面からこの20年を振り返ります。貴重な経験や教訓を市民全体で受け継ぎ、新しい芦屋のまちづくりにつなげていきたいと思います。第２回は「地域の力・ボランティアの力」の分野です。

《シリーズ》阪神・淡路大震災20年経って考えること

問い合わせ　企画課　☎(38)2127

みんなで一緒に生きること

平成７年１月17日早朝、約２７０キロ離れた広島県北部にある世羅町の私の家が大きく揺れた。早速テレビをつけると、当初の報道はあまり大きな被害を伝えていなかったが、時間の経過とともに阪神淡路地区に甚大な被害があることを次々報道し始めた。何かできないか？自分が行って何の役に立つのか？物見遊山的な不謹慎な思いが自分にあるのではないか？自問した。その間も報道は次々と甚大な被害を伝えつづけ、また、多くのボランティアが全国から駆け付けていることも伝えていた。

そこで、私はとにかく現地へ行って自分のできることを手伝おうと思い、行き先をただ漠然と芦屋と決め、自宅にあった50ccのスクーターに２・３日分の着替えや持てるだけの食料等をくくり付け出発した。

国道２号沿いの景観にしばらく変化はなく、出発から10時間過ぎても大きな変化は見られなかった。しかしその後、明石から芦屋市までの状況は言葉では言い表せられないものであった。今までに経験したことのないさまざまな音、におい、煙、そして雰囲気。

朝５時前に出発して約16時間ぐらいだったか、芦屋市役所へ到着。どうしてよいのかもわからず、市役所前で車を誘導されていたかたに「何か手伝いましょうか？」と言うと「下へ行って」と言われ、救援物資の集められていた芦屋市役所の地下駐車場へ入った。

それから７月31日までの約半年間、救援物資に関わる手伝いをさせてもらった。途中、物資班の拠点は県立芦屋南高校（現・芦屋国際中等教育学校）に変わり、さらに多くの物資の受け入れ、仕分け、避難所への搬出が行われるようになった。この頃になるとほぼ毎日、多くのボランティアのかたが駆け付けてくださっていた。私はそのかたたちに声をかけ、手伝ってもらう内容、作業の説明、人員の配置なども手伝っていた。７月に入ると、物資の整理が始まり、最後は県立芦屋南高校で保管場所として使っていた所を関係者で清掃し、物資班の解散とともに私の手伝いは終了した。物資班に関わらせていただき学んだことは、救援物資はすべて善意の結晶であることを忘れてはいけないこと。仕分けは単品、単色、単サイズが基本。段ボール箱は沢山あればあるほど良い。救援物資の種類、量、その保管場所は大まかでいいので、その場のみんながある程度知っておくこと。避難所の規模はみんな違うので、すべての人に同じだけの物を同じだけの数だけ届けることは物理的に不可能で、その場の裁量で臨機応変に対応すること等々多くのことを学ばせていただいた。またボランティアについて一番重要なことは「ボランティアはあくまでも自らの喜びとして手伝わせてもらうこと」であった。

【最後に】 見たこともない、話したこともない、どこの誰だかわからない私を受け入れ、手伝わせてくださった芦屋市役所のかたがたをはじめ、共に活動したすべての関係者のかたに感謝の気持ちでいっぱいです。災害という特殊な状況下では、今の自分の都合を優先し、自分だけ良ければそれで良いと思ってしまっても、誰もその人を責められるものではありません。しかし20年前、多くのかたは「みんなで一緒に生きること」を大切にされ、さまざまな苦難を乗り越えていかれました。私には、今もそしてこれからも、その事実を目の当たりにできたことが、私の人生の宝物です。

今こそ津知町の「絆」の重要性を考える

この未曽有の大震災で被害をこうむられた人たちにとって、毎年の１月17日午前５時46分を忘れることはないでしょう。私自身も、突然襲った未体験の激しい揺れに布団の上で自らの体がぐるぐる回り、周りの家具類が次々と倒れ何が起きたか全くわからない状態に陥りました。揺れが収まり自宅を確認すると、建っているのは形ばかりで柱は折れ、階段ははずれ、扉や窓もゆがみ、「これは大変なことが起きた」という実感が湧いてきました。

近所も軒並み家屋が倒壊しており、１階がなく２階しかない家が大半でした。そうです、それまでの津知町は一瞬にして消えてしまったのです。

震災当時の津知公園

倒壊した家から一人また一人とご近所のかたが出てこられ、お互いの無事を確認したのもつかの間。まだ姿を見せないご近所のかたがたの安否が気になり、無事な人たちと協力し崩れ落ちた屋根や壁を取り除きながら、柱などに挟まった人を助け出すことにみんな我を忘れて必死になりました。残念ながらご遺体として収容したかたも多数おられ、みんなでご冥福を祈りながら遺体安置所まで運んだことを昨日のことのように思い出します。

あれから20年近くの月日が流れ、官民による長期の話し合いにより今日では見違えるような街並みが作り上げられました。道路の幅は広がり整然とした区画が並び、災害に強いインフラ整備も行われ、津知町だけでも４カ所の公園と緑地が整備されました。

それと並行して、自治会を中心に津知町では「きれいな町」づくりを掲げ、住民による清掃活動や見回りを行っています。これは見た目だけのことを言っているのではなく、町のことに関心を持ち隅々まで目が行き届くように常日頃から心がけることで、コミュニティーを形成していくことも重要であると考えての活動です。昨今では、他人との交わりが希薄になり隣近所の面識もなくなっていると聞きます。防災の面から考えると、薄れていく隣近所の関係性は、いざという時の住民同士の相互扶助の弱体化を招きかねません。当時のことを思えば、やはり初期対応には住民同士の助け合いが必要不可欠であり、それにより救える命があることを私たちは忘れてはなりません。

震災当時のＪＲ芦屋駅

津知公園には、町内で亡くなった56人のかたの追悼のための「絆」の石碑と「鎮魂桜」があります。当時に思いをはせつつ、来るべき東南海地震に備えて私たちがやるべきことは何かを一人一人が考える機会にしていただければと祈念しています。

●プロフィール　中井 順介（なかい じゅんすけ）氏

昭和53年より配偶者の出身地である芦屋市に在住。平成22年から津知町自治会会長。子ども見守りパトロール等地域のさまざまな活動を行っている。

●プロフィール　法正 映真（ほうしょう えいしん）氏

1965年生まれ。広島県世羅郡世羅町在住。
事務系サラリーマンで農業と僧侶を兼務。４人の子どもの父。直近の広島の土砂災害をはじめ、全国各地の被災地でボランティアとして活動している。

※「芦屋川の歴史」は、「阪神・淡路大震災20年経って考えること」掲載のため、お休みとなります。ご了承ください。

KOBELCO 神戸製鋼グループ
神戸製鋼グループが運営する介護付有料老人ホーム　広告
便利でありながら閑静な住宅街、神戸市東灘区に立地。
エレガーノ甲南 ELEGANO KONAN 介護付有料老人ホーム（一般型特定施設入居者生活介護）

平成18年4月撮影 土地／普通借地（平成16年契約、所有者は神鋼不動産(株)） 建物／自社所有
見学会開催 2014年11/28(金) 11:00～14:00
（参加費：1,000円／人 昼食付）
詳しくは下記フリーコールまで
フリーコール 0120-65-8208
見学会当日の契約は受け付けておりません。
【神戸市有料老人ホーム　設置運営指導指針による表示事項】●類型／介護付有料老人ホーム（一般型特定施設入居者生活介護）●居住の権利形態／利用権方式●利用料の支払方法／一時金方式（一般居室）・選択方式（介護居室）●入居時の要件／入居時自立・要支援・要介護●介護保険／兵庫県指定介護保険特定施設　兵庫県指定介護予防特定施設●介護居室区分／全室個室　●介護にかかわる職員体制／1.5:1以上。夜間（17:00～翌9:30）の介護職員数8名・看護職員2名※夜間休憩時、介護職員4名、看護職員1名、になる時間帯がありますが緊急時等には対応いたします。
【施設概要】●交通／阪急神戸線「岡本」駅より徒歩15分（約1,180m）、JR神戸線「摂津本山」駅より徒歩12分（約930m）、阪神本線「青木」駅より徒歩9分（約700m）●構造・規模／鉄筋コンクリート造一部鉄骨造　地上14階建（ケアセンター棟地上6階）●総居室数／一般居室105戸・介護居室97室●土地建物の権利形態／土地は普通借地（平成16年契約、所有者は神鋼不動産(株)）、建物は自社所有
経営運営主体 神戸製鋼グループ（神戸製鋼所85%出資）神鋼ケアライフ株式会社
(公社)全国有料老人ホーム協会会員・(一社)シルバーサービス振興会会員・(一社)全国特定施設事業者協議会会員
〒658-0015　神戸市東灘区本山南町3丁目3番1号
TEL：078-411-9600　FAX：078-411-9674
ホームページ http://www.s-carelife.co.jp

豊かな緑に包まれた、明るい公園墓地 安心の市営墓地 広告
宝塚市立 宝塚すみれ墓苑
所在地：宝塚市下佐曽利字大谷1-66　阪急山本駅から路線バス運行（原則第一日曜日）
現地見学会 ※説明会開催日は、阪急山本駅から無料送迎バス（要予約）あり
11/22(土)・23(日) 9:30～15:00
宝塚トリプル周年 記念キャンペーンを実施
新規申込者・見学会参加者に記念品を進呈
先着順にて使用者募集中!!
どなたでも応募いただけます。芦屋市民の方もぜひご検討ください。
2m²（1区画）48万2千円～、3m²・4m²・6m²・芝生区画もあります。お気軽にお問い合わせください。
お問い合せ/資料請求は（受付時間 平日9:00～17:30）☎0797・77・2146
宝塚市役所 生活環境課　〒665-8665 宝塚市東洋町1番1号
http://www.city.takarazuka.hyogo.jp

●「広報あしや」バックナンバーは、市ホームページ『広報あしや ON LINE』でご覧いただけます。